平成29年度の事業報告書

一般社団法人防災ガール

1. 事業の成果

　平成29年7月1日から平成30年6月30日までの「平成29年度」の一般社団法人防災ガールはさらなる変化とともにありました。特に津波防災の普及啓発プロジェクト「#beORANGE」ではその活動が評価され国際的なPRアワードで優秀賞を受賞し、宮崎県全域へも展開。ボランティアメンバーひとりひとりの成長がwebメディアのクオリティや、発信するレベルもあげました。さらには、滋賀県長浜市との連携により「生き抜く知恵の実験室WEEL」という新規事業も展開し、継続的かつ安定的な事業をまわしていくのではなく「今防災ガールがやるべき事業」に集中できた一年だったと思います。

２　事業の実施に関する事項

1. 防災対策普及事業

**・津波防災啓発「#beORANGE」宮崎県全域展開**

　平成28年度に日本財団と共催にて開始した本事業は、高知・愛知・静岡と自治体ごとに展開し、日本サーフィン連盟やライフセービング協会の協力により全国に広まりつつあるものとなりました。

　平成29年度はさらに宮崎県全域へと宮崎大学・宮崎学生消防隊や地元メディア・渚の交番らと協力し県内に展開。これらの動きをもってその他地域でも実施し始める場所が増え、湘南・藤沢エリアとの連携可能性も出て来ました。

**・南海トラフ発生想定139市町村津波対策ランキングの発信**

　統一評価基準により、南海トラフの際に被害が想定されている139自治体の津波防災のソフト面対策をランキング化し発表しました。1位となった葉山町に表彰状を授与し、その他のエリアからも問い合わせいただける程、注目される機会となりました。これにより、独自の対策をしてきた自治体がさらにお互いを高め合える関係になればと考えています。

1. 産官学連携事業

**・長浜市連携「生き抜く知恵の実験室 WEEL」展開**

文具メーカーのKOKUYOや着物のリサイクルショップたんす屋に支援をいただき、暮らしの中からの知恵によりこれからの防災を発信していこうとまずはwebメディアの運営を行いました。その後、乱立するwebメディアの中で研究的内容の「生き抜く知恵の実験室 WEEL」を閲覧する人を獲得することが難しいことと、動画での発信への注目度の高まりという世間的な動向を受け、Facebook Liveを活用したライブ配信に変更。その後アクセス数が伸び、これをきっかけに下記石井食品株式会社や大東建託株式会社との連携がスタートしました。

1. プロジェクト企画事業

**・新しい非常食「potayu」を石井食品と開発**

石井食品と連携し、熊本地震で被災された方々へのヒアリングを通して玄米でつくられたおかゆに野菜やシンプルな調味料をつかい、無添加の非常食をつくりました。

**・大東建託と「防災に特化した新規賃貸住宅」の開発**

現在まだ契約後、企画はスタートしていませんが、大東建託としての新規事業として防災に特化した賃貸住宅を20-30代向けに制作予定です。

1. 情報発信事業

これまでクオリティよりも頻度やコミュニケーション量を重要視していましたが、 平成29年度からは一つ一つのクオリティをあげるためにはどのようにすることがいいのか検討し、体制やネタ合わせなど変化をし続けた１年でした。大幅にアクセス数が伸びたりすることはありませんでしたが、特にFacebookページは10000いいね！を超えて大台に乗りました。

・WEB来訪者数 年間19万人以上

・WEBページビュー　月間6万PV（4/6~5/5)

・Facebook 　8888Likes→10463like

・Twitter 1743 follower →2195 follower

・instagram 529 follower →747 follower

・Web ランキング 11位（検索ワード「防災」）

（※いずれも2018年5月5日時点）

1. 防災教育事業

・入会・退会

メンバーの入退会に関しては、今後の事業運営のなかでマネジメントコストを省き活動に集中していくために「気持ちはあれど時間的に活動ができない」「スキルがなくて教わらなければならない」という層に積極的に入会を促すことをやめました。基本的には、スキルとコミットがある人を優先的に入れ、業界の旗振り役としての防災ガールとして展開することを一緒にできるメンバーのみに制限していく予定です。